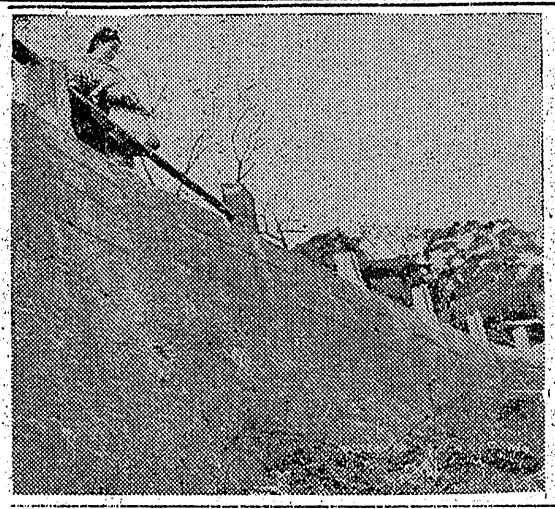
（1）　日刊（除月曜）　昭和21年6月1日（第三種郵便物認可）　昭和24年2月23日 運輸省特別扱承認第238号　いわき民報　夕刊　昭和26年1月31日（水曜日）　第1440號

實力行使態勢へ
日鐵常連指令發す

日鐵常連では十九日の團交の經過からみて統一交渉は極めて難航であることを豫測し、三十日朝(正午)組合（六千名）に對し指令第六號の實力行使の態勢を出し、一日午後には斗爭委員會を開き對策を練ることになり關係方面からはストも至とみられ成行きが重視されている

徹夜交渉成らず

東部鐵連と日鐵常連との第六回團交は前日に引續き二十九日午後二時から東部石炭協會に開き、兩組織それぞれ相當の決意に滿ち二十日午前七時までの長行時間に亘る徹夜交渉を進めたが結局、兩組織ギリギリの線まであゆみ寄ったものの日鐵側のA＝基準賃金を上廻って支拂いうる炭鑛は一方當り坑内夫四百十七圓成人坑外夫二百六十六圓を限度とし炭鑛の實情によってそれぞれ協議決定するB＝支拂えない炭鑛にあっては勞使双方で協議審處する、但しこの場合一方當り平均額は坑内夫二百八十四圓成人坑外夫百八十五圓を下るを得ないとの前協定書附屬覺書（第一項）への挿入を強く主張したのに對し連盟側ではこの組合要求を修正し最後的なものとしてAに就いては前協定通り基準賃金を坑内夫二百六十二圓坑外夫二百十六圓としてこれを下廻る場合には各ヤマの實情により協議決定することを主張、ベースアップはヤマ別の交渉にして協定書に上限の賃金を挿入することを反對し、最低賃金の坑内夫二百十四圓坑外夫百八十五圓の支給も協定上決定的なものとせず努力するという主張で遂に妥決ならず日鐵では最後の態度として別室會議の結果二月二日正午迄の期限付きで最後的回答を求め内容如何では實力行使を行う旨をつげ連盟では二日總會を召集この申入れの回答を行うことになった



勞務者の運動活潑化
舊正控え、激しい要求

二十九日午前十一時ごろ濱本町自由勞組長鈴木重雄、副組合長角田保雄、書記長金化均氏等二行三名は平職安所に佐藤所長を訪れ、勞務者の整理反對、枠の空日を充當せよ等を要求したが、整理は行わないが就勞手帳の交付を受ける際偽の申告を行なった者及び〆正就勞者に對しては今後就勞を停止する、枠の件に對しては關係機關と連絡の上善處する旨を回答され交渉は物別れとなった、尚同日石城地區自由勞働者連合會（會長坂本義男氏）からは二月四日の日曜を就勞させ代休として翌正月元旦（六日）を休日とせよ、二月は稼働日數が少ないから日曜日も就勞させよ等の要求書が提出され、また内郷町自由勞組に於ては當ろう中要求した越年資金三千円（二百円のみ獲得濟）の殘額千八百円獲得を目指して着々斗爭を進捗中であり赤井村、平市兩自由勞組でも舊正月元日（六日）の公休を要求して動きを見せる等自由勞働者攻勢は少く濱潤業協組では二十九日午後から三代總合長以下比佐馬上（比）小野（總）水野氏ら幹部が日本水素一場を訪ね同一場の毒水問題と網干場の交渉を行ったが、工場側の都合で三十一日午後一時から同漁業協組で日本水素代表者と業者が會見することになった日本水素の毒水問題は同工場から排水ずる有害水によって魚がとれなくなったばかりか、網の損失も大きくなったと地曳業者がさわぎ出していたものでここ三年來未解決となっていたもので組合側では今後かかる毒水の排水については誠意をもって有害水の漏水防止の裝置をしてもらいたいというにある

網干場の問題は工場側で高校西側道路を海岸まで置通させる約束が前にあったのでこれを急速に實施してこの一部を三十一間のコンクリートの足に鐵線で柵を造り十一月十八日に完成させ修理の未然防止策となしたが工事がチャチな爲め破壊して仕舞い柵の用をなさずに再び附近に住む子を持つ親達の心配のタネとなっている

（寫眞はその荒廢の現狀）

毒水と網干場問題
漁協組で水素と交渉

直ちに揚繰干場として使用したいというもの

大學の設置で署名運動

過般の石城平地區内に大學校設置方を政府に陳情する事を決議しこれが促進運動のため郡連合PTA高等學校長會（小中學校長會、教員組合有志が主體となって各町村に署名運動が展開されている

配給もの
砂糖
十二月一日分

平市商工課では十二月一月分の家庭網味用並びに在宅結核患者用の砂糖配給を廿一日から二月五日まで行う、家庭用一人一カ月分一斤（二六〇匁）在宅患用一人二カ月分一斤（三二〇匁）家庭用を除く、値段は中糖一斤四十六円四十錢ね當り喀血人事不省に陥いよって（新一月三日より八日

また十三俵を押收

平國道公安室では二十日より二二列車（午着午前一時二十分）に原町一平間を懸乘主食の取締りを行った結果無主物五十七個米約十三俵を押收した

作業中重傷

植田町佐藤本郷木工場の職工武藤政治（一九）は二十七日午後三時頃作業中同僚する丸鋸にて挽材のバタが胸部にはね當り喀血人事不省に陥いり直ちに永井醫院に擔ぎ込まれ總急手當を受けたが生命は取り止めるらしい

天気予報

卅日

【今晩】は北よりの風晴

【明日】は北のち南の風曇から次第に雲が厚くなり愚い方に向いましょう

梅上は波立って來ますから小型漁船は御注意

暴力勞務者
起訴さる

内郷町大字高字竹ノ内八六百由勞働者齋川泰造（二三）は二十九日地檢平支部松本檢事から職務强要、傷害の容疑で起訴された

事件は昨年八月九日平職安内郷出張所で紹介執務中の齋木正（二五）事務官に對し枠外就勞を强要させようとして全治十日間の暴行を加えた疑い

運轉手危篤
タイヤー爆發

二十六日午後一時ごろ植田町東町常南自動車修理工場内で大野村大字龍東梅炭鑛所有トラックの運轉手志賀一男（二三）君は同トラックの前輪のタイヤーに空氣を入れていた際、突如爆發しあおりを喰ってその場に卒倒し生命危篤

山中で軍鷄喧嘩の大賭博
十三名内郷署で檢擧

内郷町署では二十九日午後一時ごろから前後三回に亘り花札賭博を行ったことが判り二十九日湯本町署に捕まった名を連ねた主犯金澤外湯本、内郷、平、小名濱から集まった二十名の賭博者は同日内郷町綴字堀坂山峡地内に通稱八刀を呼寄り朝から開催中だったもので一回二千円を賭けてやっていた、尚八名は逃亡中

花賭博で擧る

湯本町齋海二七八採炭夫岡部利藏（二五）同町領城四〇採炭夫森山易（二二）同町二四〇採炭夫松谷止二（二四）同町二五採炭夫一重柳喜（二七）の四名は去る十九日

町村議長會
二日開く

石城郡町村議會議長會は一月二日午前十時から地方事務所會議室に開き、二十六年度歲入歲出追加豫算、二十五年度歲入歲出追加豫算、其の他について協議する

兩委員會
勿來小名濱へ

綠會交渉、經濟厚委員會、調査團一行十二名は三十日來平同日磐城農業高校勿來分校の狀況を視三十一日には小名濱町漁業協會冷凍施設の狀況を視察する

統計講習會
一日から

石城地方事務所社會課では社會調査統計講習會を一日午前九時から小名濱町役場、二日植田町役場、三日石城地方事務所の順に開き、各町村の統計事務者を集め厚生省の報告令が改正になったのでその樣式書き方等を說明する

急告！

英國映畫總天然色『シーザーとクレオパトラ』はファンの皆樣の御要望にこたえ明三十一日より上映を開始いたします

前賣券有効

二日まで

平文化劇場

配給もの
砂糖
十二月一月分

平市四丁目 ㊁ 釜屋商店 電九・九九・九九九

質
平市五丁目 花澤質舖

讓度
三馬力 キンシイック式 キャンデークリーム製造機 委細面談 姓名在社⑥

此度皆樣の味の店 くるみが ◇開店致しました 是非一度御試食下さい 食洋 純コーヒー カクテル 各種 おしるこ お知らせ ◇開店 平市仲田町五三 喫茶の店 くるみ 電平四二九 ★出前致します

宣伝にサービスに 広告マッチ 御注文は さかいや 平485番

婦人倶樂部連載中
川口松太郎原作
愛染香（あいせん）
6—9日（4日間）

藤田進、池部良、月丘夢路
久慈あさみ 第一回出演

本日より左記書店にてお買上げのお方に愛染香讀者優待券を差上げます

銀座通 石川書店
土橋通 西澤書店
才進小路 魁文堂
中央通 村山書店
驛前 ヤマニ書房
四丁目 マルトモ書店
三丁目 ササキホンヤ

右門捕物帳
片眼狼
10—12日（3日間）

颯爽!!乘り出す!春姿むっつり右門の初手柄!!

嵐寛壽郎 高田稔 柳家金語樓
花井蘭子 高杉妙子 星美千子

女中さん募集

年令20歲から25歲まで（委細面談）

平市田町 世界館橫 とらや旅館 電話六四八番

ホーム石鹸 サンキュー 代理店 佐々木商店 平市かじ町電呼五一三

海熱原磯ぬらを知をさ寒

天妃山温泉

觀光地推薦旅館

山海館

茨城縣磯原町電74

大中小の御宴會にゼヒ御利用下さい
御相談に應じます
美しい女中さん入用
二十才より三十才まで

風光明美の保養地！皆樣の御送迎にはサービス車を御使用下さい

ベーマネント コールドウエーブ 近代的婚禮着附 水野化粧院 平市鍛冶町 電六七八番

【振袖、留袖、貸衣裳お取次致します】

一億圓轉げ込む？
イワシ漁に大張切
舊正月まで

十五日以來獲れ始めた小名濱沖のイワシ漁は其後も引續き水揚げがあり縣旋網漁業協同組合の集計によると二十七日現在で小名濱に揚がつたイワシだけで十二万貫、此金額は一千五百万円で二十八日にも一万七、八千貫の水揚げがあつたのでもう三千万円近い稼ぎをしているわけ、且下出漁中のイワシ揚繰船は小名濱十四統四倉四統のほか茨城縣（波崎久慈）十五統、千葉縣（銚子）五統、青森縣（八戸）五統も出ているので計四十三ヵ統一統當り三餐と見ても百二十九餐の大船團が小名濱の眼の前で操業している、漁況も風浪のため思う樣に活動出來ない缺點はあるが然しイワシ群は依然として見えるのでまだ〳〵有望でこの分で行くと舊正月も引續いてイワシが獲れそうだと業者を喜ばせている旋網漁協組では舊正月までには勿論なくとも一統當り二千貫は獲るだろうから二十万貫のイワシが水揚げされ更に四千六百万円位の仕事はするだろうからこの分で行くと漁況次第では一億円位の金は舊正月まで轉げ込む事確實だと見ている、何せ魚價が眞當り二百円から二百五十円もしているので金額を稼ぐには絶好のチヤンスで揚繰業者にもようやく春らしい明るい希望が拓けて來た格好、この舊正月までの秋職の調子がよければ更に小名濱から四統、四倉から三統、中村（原釜）から五統、揚繰船がこの後を追つて參加する形勢にもある

揚繰業者側から見れば今度のイワシ漁で最低向う六ヶ月の金を確保しこれを基礎にして三月頃から房州方面に出漁、イナダの旋網等を行い更に六月頃より三陸のカヅオ、マグロの旋網に從事し秋口には遠く北海道へ遠征サバの旋網に轉じイワシ漁期と共に揚繰に復歸しようと計畫しており今回のイワシ漁によつて當にならぬ金融機關からの借入れに煩らず次の漁業への乘出資金を確保すべく悲壯な考えで操業しておるわけだがイワシ漁の成果次第では本縣旋網漁業もスムースに行く一つの好轉への一ポイントになるものと見て非常に重要視しており舊正月前の暮に降つて湧いた樣なこのイワシに大きな期待を寄せている

"商港らしくなつた"
小名濱に貨客船入る

◎…二十八日小名濱商港に珍らしく貨客船が入港、三千トン埠頭に横付けしてハマッ子の注目を惹いた—この船は大阪商船の貨客船間居丸（千四百五十六トン）で北海道釧路から日本水素向け粉炭八百六十トンを積んで入港したもので乘客の定員は二等客六名、二等十九名、三等二十二名となつているが乘客は一人もなかつた

◎…代理店の旭運輸産業小名濱出張所では『貨物の利用があれば乘客も扱つているが殆んど定期便として運航する程荷もないので乘客の扱は當分出來ません』と說明している

◎…白いデッキにカモメがスイ〳〵と飛ぶ風景はミナト小名濱の情緒を一層煽り『商港らしくなつた』とハマ人を喜ばせた

舊正月まで
福は内鬼は外！と一年間の厄拂いを
二月四日節分に子鍬倉神社で
福袋一万をまく

福は内鬼は外！と一年間の厄拂いをする節分は二月四日この日『石城福は内會』では古來の恒例により會員の除厄招福を祈念するため午後一時から平市子鍬倉神社社頭に破祈禱、午後二時からはカミシモ姿の歳男が豆まきをするが多數の參詣者を得るため當選券入りの福袋一万枚を一緒にバラまき當選者には社務所で賞品を渡すということになつている

『石城福は内會』は大正七年發會以來三十四年を經て現在千五百名の會員をもつているが會員は五十円の會費で申込みが出來、當日會員は記名の祈禱札と福豆が頂けるなお除厄開運の祈禱札は七十円以上で福升は希望者は百円で分けてもらえる、歳男は千円で神札、福豆、福マスを頂き豆まきをするが今年は二十人位の豫想、知名の士では馬目縣議、井上消防署長らが六十才で歳男となつている

百四十七名で警備
競輪の取締り陣決る

來る六日から開催される平競輪に際し宇都宮、鳴子兩競輪の前例から万一を考慮して平市署では縣本部と警備に關して協議した結果次の樣な警備網が決定した

警備人員は平市署、同地區署、湯本、内郷、小名濱、江名、四倉の各町署と機動班の七十七名、平市消防團員七十七名の合計百四十七名で警備本部を平市署に置き各種の不法行爲の防止に務め、更に警備隊員は常に各「レース」に注目して審判の結果に對する觀衆の動靜に注意する

等を制定し万全を期する事となつた、また競輪開催の四日間はその他犯罪の激增する事を考慮し夜を徹して警戒に當る事となつた

一等に當選
幸運な野口君

專賣公社で行つた煙草福引抽選券の當選發表がこの程あつたが平市魚町城跡饑道員野口武男さんは一等がたつた三本のうちに當選見事現金二万円の金的を射止めた

清水氏を表彰
檢擧に協力

内郷町宮字金坂古物商清水喜二（四六）さんは贓品を賣込まれる度に警察に連絡犯人檢擧に協力して來た功績で二十七日同町公安委員會から表彰された

濱の盜難續出

◇双葉郡請戸村阿部竈男氏所有日本探檢會社所屬の大孝丸（八トン）は廿六日夜機關部から二万円相當の砲金を盜まれた

◇小名濱町中岡三七立花勇氏所有共榮丸（二五トン）は二十六日夜機關場からホワイトクランクメタル（一万円相當）を盜まれた

母子援護金運動順調

九日から全國一齊にスタートした"母子草"の母子援護資金募集運動は好調の波に乘つてすこぶる好成績を收めつつあるが、平市に於ける三十日現在の成績は戸別訪問の部六万二千四百九十四円に達一八万四千七百二十四円の目標額に對して七十三パーセントと云つた好成績振りを續伸、目標額完遂への力强いあゆみを續けている、尚街頭募金（割當額二万円）は母子草の週花等に就き協議した

設樂氏就職す

元江名町助役設樂英男氏は昨年九月辭職していたが今回磐城共立病院に就職した

共立病院議員會

磐城共立病院組合議員會は三十日午後三時から本社ホールに開催二十五年度予入、予出の豫算、負擔金分賦方法、收入役代理者選任、一時借入金

いわき歌壇
石城歌話會（上）

年刊歌集出版記念會

佐原喜久司

夕廢墟の色冴えかへり山々はひだ雪わかせそのまま日暮れ

上田冷人

かがみても寒きホームに人ふえず石炭列車ながながと居り

高木可水

吾が庭の雪解け初めし福壽草あらわれたるが花つけて見ゆ

星　正吾

溫くもりも一つになりて妻と吾冷えし布團にかばひつつ寢る

曳地岩男

今日ばかりすべての過去を忘れんと初湯にひたるうつとうしさに

永山德一

風邪熱に惱まされゐる夜半にして汽車の氣笛が銳く響くも

大村龜吉

指ればはげしきバスに堪を得てまな、とず倘ずればかく身はまかせつつ

瀧岸うめ子

夕べになれば頭痛ある日の多くなりて泥道來し侘留所に居り

岡　直勝

荷の中に吾妹の位牌あることを意識に置きてリヤカーを引く

猪俣西信

白銀、仲間町、鎌田町、堤ノ内、南白銀、大工町、才槌小路、稻城跡、見町、中、下平窪、中豐、鐵濱官舍、舳谷飯野（谷川瀨、中山、南白土のみ）となつている

福袋一万をまく
子鍬倉神社で節分に二月四日

福は内鬼は外！と一年間の厄拂いをする節分は二月四日この日『石城福は内會』では古來の恒例により會員の除厄招福を祈念するため午後一時から平市子鍬倉神社社頭に破祈禱、午後二時からはカミシモ姿の歳男が豆まきをするが多數の參詣者を得るため當選券入りの福袋一万枚を一緒にバラまき當選者には社務所で賞品を渡すということになつている

『石城福は内會』は大正七年發會以來三十四年を經て現在千五百名の會員をもつているが會員は五十円の會費で申込みが出來、當日會員は記名の祈禱札と福豆が頂けるなお除厄開運の祈禱札は七十円以上で福升は希望者は百円で分けてもらえる、歳男は千円で神札、福豆、福マスを頂き豆まきをするが今年は二十人位の豫想、知名の士では馬目縣議、井上消防署長らが六十才で歳男となつている

算數研究會
二日に開く

小中學校算數科研究會は二月二日午前十時から午後三時まで當磐小學校に各校算數科主任二十名が集まり算數教育指導研究に就き懇談する

糯米ドロ擧る

田人村大字旅人字根室七十坂本貞雫（二六）は二十七日午前十一時頃川部村大字下小川字松ノ下農業堀田崇司さん方からもち米二斗他一件（二千円相當）を窃取、現行犯で植田地區署に捕まつた

預り金横領

磐崎村上湯長谷字九石七一土工小林喜治（二七）は昨年七月上旬ころから九月ころの間に前後數回に亘り湯本町天王崎五二土工渡邊治さん外二人から同町三函醫屋呉服店渡崎倉之助さんに拂つてくれと現金一万四千円を預つたが橫領し自己の生活費に當てていたことが判り二十日湯本町署に捕まつた

ラジオ
JOCP JOHq【31日】

【ローカル】

送＝政山郡山

前七・三〇あぜ道通信『松川葉の特性に就て』隈禪草耕作組合連合會監事宗像德彌

後一・三〇子供の時間　郡山子供新聞一月號

後六・三〇『公民館と私達の生活』福島民報記者三谷晃一

歌壇

安齋　一

礦夫らの帽燈あまた採炭場の炭塵の中にぶく動けり

柴田正寬

吾が背戸の日溜りにはやフキのとう芽ぐみでたり春の香のして

澤田　糟秀

秀に廻る矢絞軍ありてボタ山の斜面ゆるやかにトロのほりゆく

矢内智水

霜よけの藁に圍まれ芽立ちたる豆が初々しきみどりを育つる

矢ヶ崎由子

皐ヶ子がスキーに興じしさま映る度くみ入と笑ふ人があり（ニュース映畫）佐藤哲司

「金かかる短歌やめなさいよ」と愚痴ぼす妻には短歌の價値知らぬらし　熊谷眞一

ためため吾が居る夕べみこもりし妻の言葉の明るくひびく

鈴木一郎

二町目の歳末福引大売出し

壹等　五十名樣　成田山初詣御招待　以下6等迄空クジナシ

2月1日—2月8日
（當12月25日—1月3日）

三丁目商店會

（入院隨意）
産婦人科
中田醫院
中田三郎
平市材木町二四（浪曲舘附近）
電話一〇九七番

CURRY POWDER
ミツヰカレー粉
平市五丁目　壹376
特約販賣店

ハ正直デス
神戸牛專門店
日本畜産代理店
平市銀座通電二七一

綿とふとん
キスズキ
御註文に應じ迅速御誂製いたします
平市新川町電四二二
工場平市正月町五五

アタタカイ
オノミモノ
ナミキドウリ
ブラジル

五一年の服裝の店
新型セビロズボン　オーヴァ
ジャンバー　學生服　セーター
平市　中央通り　銀座通り
盛高屋
電話一〇九三番

泌尿器科
外科
性病科
眞木醫院
眞木光邦
平市鍛冶町（公會堂通）
電話一一九五番